

「障害者雇用優良事業所等の厚生労働大臣表彰」を受賞

当社は、この度『平成 27 年度 障害者雇用優良事業所等の厚生労働大臣表彰』を受賞しました。9月8日に、丸の内 MY PLAZA(東京・千代田区)にて授賞式が行われ、社長の玄藤が表彰状を受け取りました。



「障害者雇用優良事業所等の厚生労働大臣表彰」は、障がい者の職業的自立の意欲を喚起するとともに、障がい者の雇用に関する国民や事業主の関心、理解を深めることを目的としたもので、障がい者を積極的に雇用している事業所や職業人として模範的な業績をあげている障がい者に対し、厚生労働省が毎年表彰を行っています。

当社は 1978 年の設立以来、障がい者の自律をめざし積極的な雇用を進めるとともに、ソニーの製造事業所の一つとして、マイクロホン、ヘッドホン、ビデオカメラ・デジタルカメラ関連製品などの生産や修理サービスなどを行っております。

障がいのある社員が働きやすく働き甲斐を持てるよう、個々の能力を最大限に発揮できる環境作りを進めており、一人ひとりに合わせた作業台や障がいを補完する治工具などを導入しているほか、安定した就労につなげるために、個々の障がいに応じたキャリア支援も開始しました。

さらには、これまでの障がい者雇用のノウハウをソニーグループに広げる取り組みや、外部からの見学者の受け入れ、障がいのある小中学生を交えた理科教室の開催など、多方面にわたる活動を展開しております。

このような長年にわたる障がいに配慮した職場環境づくりや安定した就労に向けた支援活動、地域社会への貢献などが評価され、この度の受賞となりました。

玄藤社長のコメント

このような栄誉ある賞をいただき、大変うれしく、社員一同光栄に思っています。本受賞は、今までのソニーグループ関連各社、各部署の方達やソニー・太陽の先人達が、ソニーのファウンダーである井深さんと共同出資の社会福祉法人「太陽の家」創設者の中村裕博士お二人のお言葉を企業理念として、真摯に取り組んできた結果だと思えます。

また、今年は「太陽の家」創立 50 周年の節目でもあり、障がい者雇用の取り組みを通じてグローバルに模範となる、障がいを感じない、感じさせない、社員の誰もが持てる力を最大限発揮できる会社運営を推進して参ります。

